

科目名	都市・地域政策	単位数	2	授業形態	講義	担当 教員	吉田 隆之（創）他
英語表記	Urban Regional Policy						

● 科目の主題

都市や地域が抱える現代的課題について知識を深め、政策的思考を身につける。

● 授業の到達目標

都市や地域の経済や法、政策に関する問題について分析的に思考・表現することを到達目標とする。

● 授業内容・授業計画

「都市」や「地域」は、自然、歴史、文化、産業、暮らしなど市民の営みの舞台であり、時代を越えて継承されてきた。人口減少時代、成熟社会が到来した今、都市・地域ではどのような学術的思想が必要とされるのか。担当教員 3 人それぞれのテーマに沿って考えていきたい。

各回具体的な地域のトピックを扱う。①(久末)都市計画法の最先端を行くフランスの動向を紹介しながら、都市・地域成長を法的に考える。②(孫ミギョン)グローバリゼーションがもたらした都市空間の変化や文化的変化について理解しながら、都市構図の変化を日本や韓国の具体的な事例を用いて検討し、理解力を高める。創造都市論をベースに、障害者に焦点をあてながら文化と福祉を架橋する必要性を論じる。③(吉田)芸術祭、アートプロジェクトを切り口に、都市・地域再生を論じ、大阪アーツカウンシルなど今日的課題も扱う。

- 第 1 回 オリエンテーションー都市・地域政策とわたしたち
- 第 2 回 現代の都市計画法
- 第 3 回 都市計画の歴史(ユートピア、ベル・エポック)
- 第 4 回 20 世紀からの都市計画(モダン、持続可能性)
- 第 5 回 都市計画と PFI との連携
- 第 6 回 創造都市
- 第 7 回 グローバル化のなかの都市空間
- 第 8 回 都市と文化政策(日本・韓国)
- 第 9 回 グローバル化とエスニック・コミュニ

ニティ

- ①(日本:東京新大久保・大阪生野)
- 第 10 回 グローバル化とエスニック・コミュニティ
- ②(韓国:ソウルガリボン洞・大林洞)
- 第 11 回 アートによる都市・地域再生
- 第 12 回 芸術祭とコミュニティの涵養
- 第 13 回 アートプロジェクトと文化資源活用
- 第 14 回 文化支援制度とアーツカウンシル
- 第 15 回 期末テスト

(担当)

- 第 1～5 回 久末弥生 (創造都市研究科)
- 第 6～10 回 孫ミギョン (非常勤)
- 第 11～15 回 吉田隆之 (創造都市研究科)

● 事前・事後学習の内容

第 1～15 回 教科書指定箇所を読み、授業に臨むこと。授業時に指定箇所と事後学習の内容を指示する。

第 1 回、第 6 回、第 11 回の事前学習は不要とする。

● 評価方法

期末テスト、授業の参加意欲、出席状況等から総合的に判断する。

● 受講生へのコメント

都市や地域での活動に興味を持つ意欲ある学生の受講を歓迎する。携帯電話の電源を切ってから、教室に入ること。

● 教材

教科書：久末弥生『都市計画法の探検』法律文化社、2016 年。

端信行他『都市空間 I 創造する越境時代の文化都市論』、日本経済評論社、2006 年。

吉田隆之『トリエンナーレはなにをめざすのか：都市型芸術祭の意義と展望』水曜社、2013 年

